
雪景色

吟遊猫

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雪景色

【Nコード】

N8474Z

【作者名】

吟遊游猫

【あらすじ】

本日、雪が降りました。

（前書き）

『語り得ぬものについては沈黙しなくてはならない』。 ルード

ヴィヒ・ワイトゲンシュタイン。

まさに、そのとうりだと思うね。

……… 自分の文才のなさをどう言い訳するか考えた結果の台詞でした。 笑

ある日少年は空を見上げてこう言いました。

「この広い空を見ていると僕の悩みなんて、
なんて、ちつぽけな事なんだろう？って、思えるんだ。」

だけどそらはいいました。

「君は確かに小さいけど、悩みを隠す必要は無いんだよ。」

今宵は雪が降りました。

真白色をしている小さな粒です。

触ったら、溶けてなくなってしまう。

その日少年は雪空を見上げながらこう言いました。

「この雪のように僕なんて簡単に消えてしまうのだろう。
このまま、いくら生きていたって死んで消えしまうのは同じなら、
これから長く生きていく意味って何だろう？って、思うんだ。」

そしたらゆきぞらはいいました。

「いつ死んでも同じ。それはそうかも知れない。」

と言って、雪空は次の言葉を言い始めます。

「でもね、——」

と、言って言葉は途切れました。

いつの間にか雪は降ってません。

空は雪空ではなく空に戻りました。

少年は次の言葉を待ちました。

街は雪化粧。

少年は椅子に座って目を閉じて永い眠りにつきました。

(後書き)

《無駄話》

昨日はクリスマスです。

ちなみに、「シャンパン」というのはフランスのシャンパーニュ地方の葡萄から作られたものだけを指すのであって、それ以外はスパークリングワイン」だそうです。

という訳で、クリスマスイブはスパークリングワインを飲みました。勿論、アルコール入りのね。

年齢？ 年齢は15歳ですw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8474z/>

雪景色

2011年12月26日21時05分発行